

科目名	担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児音楽・身体表現法Ⅰ	古木 竜太	演習	2	前期
必修・選択	修了要件	必修		
	資格要件			
学習目標	保育内容身体表現で学んだ身体の使い方やイメージの膨らませ方を参考にしながら表現できるようになる。そして、毎回の学習を通して自己の身体と向き合いながら、想像したことを素直に身体で表現できる能力を高め、互いの表現を認め合い、尊重する態度を養う。			
授 業 計 画				
回	項 目	授 業 内 容		
1	保育現場の音楽・身体表現活動	幼児教育における音楽・身体表現の歴史の変遷について		
2	からだであそぶ（1）	動きと時間・空間に着目した表現法		
3	からだであそぶ（2）	「無い」ものから「在る」ものへの表現法		
4	からだであそぶ（3）	即興的な動きの発掘（言葉の意味やイメージを動きで表現）		
5	音であそぶ（1）	わらべうたを用いた遊戯の創作		
6	音であそぶ（2）	身体を使う音づくり（手拍子、足踏みなど）		
7	音であそぶ（3）	自然や日常の音を用いた表現活動		
8	音であそぶ（4）	音に合わせた動きの探求（音階・音質・擬声語を動きで表現）		
9	小作品発表（1）	既習の学習内容を踏まえた小作品の創作（実技試験・練習）		
10	小作品発表（2）	既習の学習内容を踏まえた小作品の創作（実技試験・本番）		
11	作品創作の実践（1）	テーマの設定、作品構成など		
12	作品創作の実践（2）	動きの探求、選曲など		
13	作品創作の実践（3）	リハーサル、作品の練り直しなど		
14	作品創作の実践（4）	作品発表		
15	作品鑑賞	発表・評価について		
参 考 書	『身体表現』の学習（荒木恵美子、磯島紘子、井上邦江編著．遊戯社．2003年再版） 「こどもと教師とでひらく表現の世界」（松本千代栄編著．大修館書店．1993年3版）			
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	毎回の授業では筆記用具持参。 体操服、指定の上履き（裸足が望ましい）で受講すること。			
評価の方法と時期	出席状況（30%）、学習態度（10%）、実技試験（60%）により評価を行う。			